

特集

九州新幹線西九州ルート

令和4年秋開業！



現在の新大村駅周辺

九州新幹線西九州ルート（長崎・武雄温泉）が令和4年「秋」に開業することが決定しました。

市内の新幹線に関するトンネルや高架橋の工事は完成に近づきつつあり、現在は線路敷設や新幹線駅舎および車両基地、電気設備などの整備が着々と進められています。



▲現在の新大村駅外観

新幹線開業で、本市は新幹線・空港・高速道路という3つの高速ネットワークがそろい、とても利便性に優れた都市になります。

また、市では、新幹線整備にあわせ、駅までのアクセス道路や東西の駅前広場などの周辺整備、在来線新駅（新幹線の在来線乗換駅および宮小路3丁目の新設駅）の整備を進めています。

## 新駅の駅名が決定しました！

新幹線新駅「新大村駅」



JR大村線新駅「大村車両基地駅」



11月26日、JR九州から、新幹線新駅と宮小路3丁目に設置されるJR大村線新駅の駅名が発表されました。新幹線新駅は「**新大村駅**」、JR大村線新駅は、新幹線新駅に併設される「**新大村駅**」と「**大村車両基地駅**」に決定しました。

新大村駅は、未来と発展を期待させ、「新」がつくことにより新幹線駅であることが利用者に伝わりやすい名称として、また、大村車両基地駅は、西九州ルートで唯一となる新幹線の「車両基地」が立地していることを他の地域にアピールすることで新たな観光資源としての活用や、関連企業の進出などによる経済効果を期待した名称として、市からJR九州に要望したものです。

駅舎デザインのコンセプトは、新大村駅が「豊かな自然と歴史・文化が響きあい未来へつながる駅」、大村車両基地駅が「新幹線車両のもつシャープさを直線で表現し、光あふれる雰囲気未来をイメージ」です。





# 来たいがふくらむ、おおむら。

## 新幹線の名称と導入車両が決定しました！

名称 **かもめ**  
車両 **N700S (6両編成)**



▲N700S 外観

九州新幹線西九州ルートに導入される新幹線の名称と車両が JR 九州から発表されました。

新幹線の名称には長崎本線の特急である「かもめ」が採用されました。

「かもめ」は 1961 年から、博多と長崎を結ぶ特急列車として、現在まで約 60 年もの間親しまれてきました。

車両は最新の「N700S」が採用され、モバイル用コンセントが全席に設置されるなど、これまでの新幹線よりも更に快適に乗ることができます。



▲指定席 (4列シート)



▲自由席 (5列シート)

※画像：JR九州提供

### N700S の主な特徴

- ▶安全性・安定性の向上  
ATC (自動列車制御装置) とブレーキシステムを改良
- ▶異常事態応力の強化  
バッテリーシステムの搭載により停電時において自力走行可能など
- ▶快適性・利便性の向上  
モバイル用コンセントを全席に設置、バリアフリー対応設備を設置

## 開業に向けて盛りあがろう！

九州新幹線西九州ルートの開業は、市民生活に大きな変化をもたらします。長崎方面はもとより、福岡・関西がグッと近くなり、市民の利便性が向上するとともに観光やビジネスで多くの人が大村を訪れるチャンスとなります！

このチャンスを最大限に生かし、開業効果を広く波及させるために、市では「大村市新幹線開業アクションプラン」を策定し、新幹線開業に向けたおもてなしや観光商品づくりなどの取り組みを市民一丸となって進めることで、賑わいを創出していきます。

令和 4 年秋の開業まであと 2 年足らずとなりました。みんなでどんどん盛り上げましょう！



▲新幹線開業 PR テーマソング「虹のレール」を歌う 3人組ボーカルユニット「poppo」



▲新幹線絵画コンクール最優秀賞

オリジナルテーマソング「虹のレール」はこちらから視聴できます。▶

